

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 地すべり対策事業

事業コード(H20-農-継-10 )  
箇所名 (由利本荘市鳥海町オノ神・下直根 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性				
	あきた 2 1 総合計画との位置づけ	施策目標の中核事業であり貢献度が高い 施策目標に間接的に貢献する 施策目標とは別のその他関連事業である	10 5 0	5	
	事業未実施の影響				
	中止・休止による農地・農業用施設への影響	地すべりの発生原因があり、与える影響が大きい 地すべりの発生原因があるが、与える影響は小さい 地すべりの発生原因があるが、与える影響はない	5 3 0	5	
	計		15	10	
緊急性	災害発生の危険度				
	人命への影響	災害の発生により人命に危険がある 人命への危険はほとんどない	5 1	5	
	農地、農業用施設被害の除去	農地、施設への被害が甚大である 農地、施設への被害が懸念される 農地、施設への被害が懸念はほとんどない	10 5 1	10	
	地すべりの兆候	地すべり地形が明瞭で、早急な対応が必要である 地すべり地形が不明瞭だが、対応が必要である 地すべり地形が不明瞭だが、将来は対応が必要である	5 3 1	5	
	計		20	20	
有効性	当初計画の具体的効果発現				
	地すべり防止効果の達成率(地下水低下等)	100%以上 80%以上100%未満 80%未満	10 5 1	5	
	整備の効果				
	農用地、農業用施設の保全	農地、農業用施設への被害を防止又は軽減することが見込める 保全効果が多少期待できる 現状と変わらない	10 5 0	10	
	一般・公共施設の保全	一般・公共施設への被害を防止又は軽減することが見込める 保全効果が多少期待できる 現状と変わらない	5 3 0	5	
環境との調和への配慮状況	環境保全への配慮	十分に配慮している 配慮している 配慮が不十分である	5 3 0	3	
	計		30	23	
	効率性	事業の投資効果			
費用対効果	費用対効果	B / C = 1.0 以上 B / C = 1.0 未満	5 0	5	
	事業実施コストの縮減				
	対策内容	効果が発現している 実施している 検討中である	5 3 1	3	
計		10	8		
熟度	事業の推進				
	事業に関する住民意識	地区指定看板を設置し、事業内容を周知している 地区指定看板の設置はないが、事業内容を理解している 地区指定及び事業内容を知らない	5 3 0	3	
	前年度までの進捗比	計画より進捗している おおむね計画どおり(90%以上) 計画より遅れている(90%未満)	10 5 1	10	
	今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる 将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない 課題は解決の見込みがなく、事業の停滞が予想される	5 3 0	5	
	他官庁との協議調整	協議・調整済みで事業推進に影響はない 協議・調整中であるが事業推進に影響はない 協議・調整中で事業推進に影響する	5 3 0	5	
計		25	23		
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度が高い	80点以上		
	優先度が低い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 地すべり対策事業

事業コード(H17-農-継-11 )  
箇所名 (由利本荘市鳥海町オノ神・下直根 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性 県民のニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い	5	3	
		一般県民を対象とした調査でニーズを把握	3		
		一般県民を対象とした調査を行っていない	1		
	社会経済情勢変化による需要変化	増大している	5	5	
		特に変化はない	3		
		低下している	1		
	事業の進捗状況 進捗率費	計画より進捗している	5	5	
		おおむね計画どおり(90%以上) 計画より遅れている(90%未満)	3 1		
	今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5	
		将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない	3		
課題は解決の見込みがなく、事業が停滞する		1			
計			20	18	
緊急性	災害発生の危険度 人命への影響	災害の発生により人命に危険がある	5	5	
		人命への危険はほとんどない	1		
	農地、施設被害の除去	農地、施設被害が甚大である	5	5	
		農地、施設被害が懸念される	3		
	地すべり兆候	地すべり地形が明瞭で、早急な対応が必要	5	5	
		地すべり地形が不明瞭だが、対応が必要 地すべり地形が不明瞭だが、将来は対応が必要	3 1		
	事業の影響 事業未実施の影響	事業効果や効率性、周辺への影響等が大きい	5	5	
		事業効果や効率性、周辺への影響等は小さい	3		
		事業効果や効率性、周辺への影響等はない	0		
	他事業との関連 他事業との関連	関連する他事業との調整で緊急性が高い	5	3	
関連する他事業との調整はないが緊急性はある		3			
関連する他事業との調整がなく緊急性は低い		1			
計			25	23	
有効性	当初計画の具体的効果発現 地すべり防止(地下水低下等)効果の達成	100%以上	5	3	
		80%以上	3		
		80%未満	1		
	現状復元等(耕作放棄地再生等)の達成	100%以上	5	3	
		80%以上	3		
		80%未満	1		
上位事業への貢献度 あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	3		
	施策目標に間接的に貢献する	3			
	施策目標とは別のその他関連事業である	1			
計			15	9	
効率性	事業の投資効果 費用対効果	B/C=1.1以上	5	5	
		B/C=1.1未満	3		
	事業実施コストの縮減 対策内容	検討し実施している、又は実施する予定	5	5	
		検討していない	1		
	当初計画との比較 当初計画事業費からの増減	減少又は増加なし	10	6	
		10%未満の増加	6		
10%以上の増加		2			
計			20	16	
熟度	事業の推進 事業に関する住民意識	地区指定及び事業内容を十分理解している	3	3	
		地区指定及び事業内容を理解している	1		
	市町村の参画	積極的に参画し、協力体制が良好である	2	2	
		参画している	1		
	他官庁との協議調整	協議・調整済みで事業推進に影響はない	5	5	
		協議・調整中であるが事業推進に影響はない	3		
		協議・調整中で事業推進に影響する	1		
	将来の維持管理 維持管理体制	市町村及び地区住民の監視体制が十分できている	5	5	
		市町村の監視体制ができている	3		
		市町村の監視体制が弱い	1		
環境との調和への配慮状況 環境保全への配慮	十分に配慮している	5	3		
	配慮している	3			
	配慮が不十分である	1			
計			20	18	
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		